

■福島町椎茸生産組合

組合長 管藤 光男さん



■福島町椎茸生産組合

副組合長 本庄 喜美雄さん



Ⅱ原木栽培にこだわって生産
してきた成果などがあれば教
えてくださいⅡ

「横綱椎茸」の知名度拡大を目指して試食販売などを行っており、試食されたお客様から「菌ごたえや香りが良くとてもおいしい」など評価をいただいております。その成果が表れてきたのか、函館市や札幌市の居酒屋等で注文をいただくようになり、需要が大変増えてきたように思います。

また、昨年から北海道きのこ生産・消費振興会主催の北海道きのこ品評会に出品し、原木しいたけの部で、昨年度は「優良賞」、今年度は「優秀賞」と2年連続で賞を受賞することができました。

Ⅱ椎茸生産組合としての課題
を教えてくださいⅡ

椎茸生産組合としての課題は、生産者が不足していることです。現在、中村俊介さんが町の担い手事業を活用し、椎茸の栽培方法を学んでいるところですが、最近、横綱椎茸の需要が増えており、供給が間に合わなくなってきたので、生産者不足が最大の課題となっています。

■担い手 中村 俊介さん



Ⅱ今後の目標・抱負について
教えてくださいⅡ

今後の目標は、生産者の増加と、それに伴って安定した供給ができる生産体制づくりが一番の目標です。

また、さらなるブランド化を目指して、福島町の特産品といえば、昆布やスルメと並んで、「横綱椎茸」の名前が出てくるように知名度の拡大を目指して、頑張っていきたいです。



▲指導農家に栽培方法等を学ぶ中村さん